



福高だより

平成 24 年 3 月 14 日
第 128 号
発行 福知山高校

卒業式

3月1日(木)、第64回卒業証書授与式が行われました。普通科163名、文理科学科39名の計202名が定時制の生徒ともに巣立っていきました。3年間共に学んできた仲間や先生方との別れに涙しつつも、新たな生活と目標に向け、力強く歩き始めました。



卒業
おめでとう



合格体験記

各大学で、入試の合格発表がありました。福知山高校での合格者の声をお届けします。

神戸大学 経営学部 合格

松本 紘幸 (福知山市立日新中学校出身)



僕が勉強に打ち込めた大きな理由として、クラスの雰囲気があります。3年間一緒に過ごした思いやりのあるクラスメートは、ただそばにいてくれるだけで心強く、一人では身の入らないような時でももうひと頑張りしようと思えました。これから受験を迎える方々へ。勉強する姿勢が受け身にならないように気を付けてください。与えられた授業を聞き、問題を解くことだけで成長するのではないと思います。その授業から自分のためになることを搾り取り、その問題から次に活かせるスキルを学ぼうとする姿勢に成長はあると思います。努力はきっと裏切りません。友達を大切にしながら日々前向きに頑張ってください。

大阪府立大学 地域保健学部 合格

山本 麻里絵 (福知山市立南陵中学校出身) 書道部



私が作業療法士になるという目標を見つけ、第一志望校に合格出来たのは、勉強以外にも部活動とボランティア活動に励んでいたからだと思います。

私は進路を決めるのにとっても悩んできました。自分が何に向いているのか、やりたいことは何なのかが分からなかったからです。目標がないので勉強にも身が入りませんでした。このままではいけないと思い、2年生の頃に書道部に入りました。またボランティアや生徒会などにも積極的に参加しました。始めは高校時代に様々な経験をするのもいいかなというくらいの気持ちでしたが、ボランティア活動を通じて地域の子どもたちや障害者の方たちのたくさんの笑顔に出会い、人とのつながりの大切さや、人を支え、役に立つことのすばらしさを学ぶことができました。また、書道部でも信頼しあえる仲間に出会うことができました。それらの経験から私は自分が人が好きなんだということに気付き、作業療法士という職業を選びました。そして、目標が明確になったことで、やる気が出て、合格に向けて努力することができました。

私は進路について随分と悩みましたが、考え込むことに時間を使うよりも様々な経験をして、視野を広げていくことが大切だと思います。諦めずに最後までやり抜けば、結果は必ずついてくるので、頑張ってください。

京都教育大学 教育学部 合格

衣川 こよ璃 (福知山市立夜久野中学校出身) ソフトボール部



私は高校3年間を様々なことに興味を持って取り組み、その1つ1つを精一杯努力するよう心掛けてきました。勉強では定期テストを大切に、普段から勉強しない日がないように努力しました。部活動では、悩み苦しんだ時期もありましたが、ソフトボールが好きな気持ちと仲間を支えられ、悔いなくやり切ることができました。机上では学びきれない貴重な経験ができたと思います。他にもボランティア活動や、保育園・小学校訪問などへの参加を通して、具体的な進路が自分なりに見えるようになりました。福高は文武両道を目指す仲間がたくさんいて、切磋琢磨しあえる場所なので、お互い高みを目指して頑張ることができました。

これから受験に向かう皆さんには、今しかできない経験をたくさんしてほしいと思います。勉強はもちろん部活動をやっている人は全力でやり切ってもらいたいと思います。部活動をやっていない人も、自分の興味のあるものに積極的に取り組んでみてください。皆さんの進路が実現できるよう、心から応援しています。